

# 家庭教育推進指摘

## 網強化案も

に多いと指摘し、「品質管理や保証の面から安全性確保を議論すべき」と主張。

ただ、フローチャートについては「製品の中身によって柔軟に対応できるものが必要」としており、健康と食品懇話会との考えとは若干の違いも見られた。

## アガリクスの信用回復目指す

### アガリクス・ブラゼイ協議会が臨時総会

アガリクス・ブラゼイ協議会は先ごろ都内で開いた臨時総会で、協議会としての安全性ガイドラインの策定や消費者向けの小冊子作成などを通じ、アガリクス全体の信用回復に向けた取り組みを推進していく事業計画を決議した。

今後の事業計画について竹口雅之会長は、今後策定される安全性ガイドラインの基準をクリアした製品の安全性を強く一般消費者及び医療関係者にアピールし

ていく考えを示した。また、協会の取組みや一連の報道に関する厚労省の発表などに関して、漫画も交えた小冊子を10月初旬頃に作成し、消費者へ正しい認識を広げていく方針を示すと共に、今後は日薬学術大会や統合医療展など各学会へのブース出展などを計画していることも説明した。

竹口会長は、「厚労省が発ガン性物質の含有を確認した製品は1製品のみであり、ほかの対象製品からは

確認されていない」と指摘するとともに、今後は会員企業の製品について、重金属分析調査も実施していく

## ケア用品購入先は薬局

### ソフトコンタクトレンズの意識調査

ソフトコンタクトレンズユーザーの約6割が薬局・ドラッグストアでケア用品を購入し、最も重視しているのは価格—このような傾向が、チバビジョンが行った『ソフトコンタクトレンズユーザーのケアに関する意識調査』から明らかとなった。調査は2週間および1カ月使い捨てタイプソフトコンタクトレンズを使用する20~49歳の男女207人に対して行った。

「厳しい管理の下、前向きに業界全体の信頼回復に取り組んでいきたい」と強調した。

その方針を示し、「厳しい管理の下、前向きに業界全体の信頼回復に取り組んでいきたい」と強調した。

その間に、33・3%が「異常を感じて眼科を受診したことがある」と回答。しかしながら「症状は出たが受診しなかった」と回答したのは18・4%にのぼり、受診したユーザーと合算すると、ソフトコンタクトレンズ使用者の半数以上が装用時に何らかの目の異常を感じている傾向が示された。

また眼科で定期検診を受けている頻度は「4~6カ月に1回」が33・8%で最も多

ることは何ですか？

広告を出している商品であること 0名 0.0%

その他 1名 0.5%

### 機能面